

# 11月より当院で『在宅血液透析』始めました！



## 在宅血液透析とは？

医療者のいない自宅で、患者さんが介助者の手助けのもとに血液透析を行うことです。  
教育を受けたことを、きちんと守っていただければ透析中のトラブル発生率は比較的に低い治療手段です

訓練を終えてご自宅での初回透析の際には、当院の医師・看護師・臨床工学士が実際に伺い機器や手順の確認をいたします。その後は月1回程度、定期検査や在宅透析の指導を兼ねて当院での透析を受けていただきます。



# 在宅血液透析のメリット・デメリット

## メリットは？

当院の指示する条件範囲内であればできます。透析中、家族と接する時間がとれます。透析施設と比べると透析時間が十分確保できるため合併症の発生頻度も低く、良好な体調が維持できます。

## デメリットは？

介助者と共に一定の教育が必要です。透析中のトラブル時に医療者が側にいないため、本人が対処する必要があります。自己管理・自己責任を伴う治療法です。



介助者と一緒に手順に沿って治療を開始します

ご自宅に透析に必要な薬剤を保管していただきます。



# 在宅血液透析の適応には個人差があります

## 適応基準は？

1. 透析者本人が希望し、介助者の同意がある
2. 在宅血液透析に影響するような合併症がない
3. 自己管理ができる
4. 透析装置・水処理装置の設置場所、材料保管場所がある
5. 医師が在宅血液透析は可能であることを承認している
6. 自分の生活設計上、在宅血液透析を有用と考える透析者も適応である

## 介助者は？

1. 透析者ができない所を、部分的に支援する役割です。
2. 年齢・性別などに制限はありません。
3. 透析者と一緒に知識・技術を習得していただきます。
4. 在宅血液透析中は透析者と連絡がとれる所に居ていただける方です。

